

# 学校給食だより 秋田っ子給食 NO-387

公益財団法人秋田県学校給食会

## 幅広い世代、気軽に昼食を 由利本荘市月1回「まごころ食堂」



まごころ食堂でおいしそうにカレーを食べる子どもたち

子どもから高齢者まで幅広い世代が共に昼食を楽しめる「まごころ食堂」が7月から月1回、由利本荘市文化交流館カダーレで開かれている。地元産の食材をふんだんに使い、食堂利用者から協力金を募る形。不登校やひきこもりの子どもたちも気軽に参加できる場を目指している。

食堂の代表は市職員の大山慎さん(53)が務める。行政経験を積む中で、誰もが社会参加できる場をつくりたいとの思いを強くし、有志の協力を得て定期的な食堂の開設に向け今年3月から準備を進めてきたという。

会場は市の施設を貸してもらい、運営費には県の「子どもの居場所・生活支援事業立ち上げ補助金」を活用。食材は地元の農家から規格外の野菜などを格安で提供してもらったり、地域住民の家庭菜園で取れた野菜を無償で提供してもらったりしている。

昼食の料金は定めず、賛同を得られた利用者から協力金として小学生以下100円、中学生以上300円を募ることにした。

7月に始めたところ初回は47人が利用。2回目の8月23日は親子連れや地域住民ら60人が訪れた。8月のメニューはカレーライスとサラダ、スイカ。カレーライスに用いたナスやズッキーニ、タマネギ、お米は由利本荘市やにかほ市産。サラダに使ったパプリカやオクラ、ミニトマト、デザートのスイカは由利本荘市産だった。



入り口付近では野菜などを提供した生産者が紹介されていた

母親と訪れた、にかほ市の櫻山よつはさん(象潟小2年)は「父が作ったナスも入っている。カレーはおいしくて元気が出た」と喜んでいました。

メニューは毎月変更される。大山さんは「地元の野菜を提供してもらい使用することで、子どもたちが地域で取れる野菜を知るきっかけにもつながってほしい」と話す。

まごころ食堂は来年6月までカダーレで開催する予定。10月には東由利での開催も計画している。スケジュールなどはフェイスブックで紹介している。

問い合わせは大山さん ☎ 090・2363・9974

(神谷紗耶加)

(令和7年9月3日(水)秋田魁新聞より一部抜粋)